

第1回これからの学生生活をともに考え、見守る研究会 発言録

日時：4月17日（日）10時～12時05分

はじめに

専務：考えるヒントが出れば。これからどのように、走りながら考える。学生のリアルを出して、前向きな学生生活を送ることへのヒントが出て来れば。

教員：学生生活を考えるヒント、学生に寄り添うことが出てくれば。みなさんの協力で。特に学生の意見が大事。

1. 研究会の目的と成果について

教員：私の考えを口火として。学生気質が変わったけど何がどう変わったかはよく説明できない。

5年間ぐらいで今の学生がコロナ等でどういうふうに変ったのか考えてみたいと思っていた。それも良いがむしろ現在の学生が大学生活に何を求め、どのように達成されないのかを知る方が良いのでは、と思いを変えた。方法論としては、安易な一般化ではなく個別の事例にこだわって、平均ではなく分布にもこだわって。はじめからはっきりした方法論や仮説を置く必要はないので、みなさんの自由な発想でみなさんと一緒に考えていきたい。学生の構造的問題、コロナという外生という要因が特定の学年に、去年の2年生（新入2年生）短期的な強烈な影響、物心両面の問題をより深く認識して、困難に陥っている学生に対して、支援できる、有効な方策を研究会から見出すことができれば嬉しいなと考えてこの文章。ご意見ありましたら。

専務：一人一人の学生が様々な受けとめをしているのでは、大きくは2つ。一つはコロナが俺の学生をめちゃくちゃにした。前向きに捉えきれない。メンタル含め。そうはいつでも2年経ってオンライン講義悪くないな、いろいろやれることができた。4年間、前向きに捉える学生が増えたらいいな、のヒントが出てくれば。

学生：3年生コロナ入学。学生委員に入ったので頑張れた。同期の学生で違う大学では、サークル入れず、友達もなく、就活どうしようか、バイトもしてないし。このまま4年間終わってしまうなと思ってしまう。コロナ禍で後ろ向きな学生の交流会、は参加しないな。後ろ向きな学生を後押しができる何か。このまま終わっちゃうなと思っている人は多いので、そこに何かできるか。

学生：統計的ではなくは共感。大学生だからこうだと一概には言えない。君、コロナで前向き、落ち込んでいる、人によってあり方が変わっている。大学生サミットでもそこが見えてきた。私も最初は落ち込んでいたが、考え方を变えて、前向きに変えたら気持ちも変わった実感があったので。前向きに変わっていける、大学生サミットに参加してもまだの人にもアプローチができる、行動できる何かがあれば。

教員：ポジティブに変えること、この会の役割

学生：課題意識、発信。先程お二方からポジティブに変えていこうのマインドも大事だけど、メディアやSNS、世の中から言われる事も影響される。1年生SNSで友達できない、いらぬコミュニティいらぬ。の学生も。社会人がいっぱいいる、学生を暖かく思っている社会人がいっぱいいることが伝えられたら。せつかくこれだけ集まったので、世の中に発信できたら考えるきっかけになるのではと思います。

教員：見守ってるよ、のメッセージがあると嬉しい。仲間からも

2. 第 57 回学調と学生の実情

教員：さまざまな論点。見えていない論点もあろうかと思えます。優等生委員会にならないほうが良い。結論ができるようなものではない、ご自由にお考えになっていることをお話しいただきたい。口火はチャットで　　さん。参加できる様な交流会があってもいいのでは。　　さんから後ろ向きな方が交流会に実際に参加されるのかなあ。難しい所。我々の大学の経験でも、前向きな人は出てくるが、後ろ向きの人は難しい。皆さんの良いアイデアなどありましたら。細かいところからでも。

学生：組織部で新入生対象の交流会を入学式前に、今年も実施。オンライン開催。結構な人。情報呼びかけ、参加してね、新入生同士で仲良く、気軽にオンラインで、の情報宣伝。ツイッター等で発信。終わった後エゴサーチ。どうだったのかな？楽しかったの声もたくさんの反面、対面だったら受けてたのに。オンラインだと友達ができにくい印象。対面で行うのは難しいが、できるだけハードルの低いものにする必要があると感じた。

学生：3年生で、1年生の時に対面授業を6月から対面とオンライン併用。全国でもいち早く。学生委員会が7月対面交流会行ったが、参加は多くなかった。実際足を運ぶかという、自分から参加するのは負けた気がするという友達がいた。今年の新入生向けに学部の部屋、1200人中800人の申し込み、情報宣伝も頑張ったが、ツイッターをやらないと友達ができないと今の学生は不安。ものすごくある。ツイッターやらなくても友達できるよ。参加しないと友達ができないのではとツイッターで回っていたので。不安から回っているのだ。今の学生は、SNS やらないと友達できないと不安に思っている。岐阜大は。

教員：いろいろな入り口。

事務局：　　先生と　　先生からアドバイスを。一步踏み出せない学生がいて悩ましい、という話が進んできた。　　先生キャリア、新3年生でこういう事例、こう感じた、　　先生はカウンセリングで学生相談でこんなことあった、課題は、という話をいただけるとありがたい。

教員：ご質問ありがとうございます。3年生は、これから就職ガイダンスが始まりますので、今後アンケートを取り、学生の声を集めたいと考えています。ここでは、4年生の状況についてお話しします。学生は、主にオンラインで就職活動を行っています。就職相談に来る学生は、オンラインのため、家でひとり就職活動をしていると不安や孤独を感じています。これは、コロナの影響で、合同企業説明会など対面でのイベントがなく、他の学生が就職活動をしている姿が見れない、また就職活動について友人と交流する機会も減っているなどの問題あると考えます。そのため、周りの学生が、どこまで就職活動が進んでいるかを相対的に評価ができず、自分がどのくらいの位置にいるか分からずに不安を感じ、孤立感、孤独感を感じるようです。また、面接などで自己PRや学生時代に頑張った内容について話す際に、コロナ禍で何もやっていないと感じ、話す内容がないという悩みを持っている学生もいます。特に私が気になっていることは、学生の企業選びが狭くなっている点です。オンラインの就職活動では、ネット中心の活動になりますので、知ってる企業だけしか調べておらず、また、地方での就職先を考える場合、銀行や公務員など安定しているというイメージがある仕事を目指す傾向があり、地域の中小企業に目がいかない状況がコロナでより強くなったように感じています。

教員：学生支援本部の中に、学生相談、就活支援、アビリティ。3月から400社オンラインの企業説明会を宣伝したが、申しこみ学生が当初ものすごく少なく、学生は案外知らなかった。情報にたどり着いていなかった。告知を工夫して、最終的には前年並みには落ち着いたが。心の

面では、もう一段階、病んでいる。死にたいと言う学生も、秋以降、去年より増えている。相談カウンセラーだけでは歯止めがかけられないので、部局の先生に全員面接をお願いして、2ヶ月ぐらいかけてやったら、空気感が変わって、相談も減って学生も落ち着いてきた。先生方が学生さんに関わると学生も変わる。学生支援本部のツイッターにも友達ができないのでそういう会をやって欲しいの声。5月にでも。新入生には先日ガイダンスをやった。7割が東海4県からくる。3割の他県からの学生には対応が難しい。きてくれたのは50人。2000人の3割600人の中の50人。少し少ないが1割ぐらいきてくれた。一歩下がっている学生にどうアクセスするのは難しい。名古屋大学は引きこもり学生も多い。私立大の学生は引きこもらないのに名古屋大は引きこもっている。名古屋市出身は引きこもりにくい。近隣、1時間1時間半かけてくる学生は引きこもる。メインは引きこもりにくいけど、周辺、地理だけでなく、大学での位置などでも、の学生は引きこもりやすい。

教員：様々な知見ありがとうございます。一歩踏み出せない学生、オンライン、ハイブリッドで、通常ならオンラインなければ学校行くので生活リズムが一定化するが、オンラインや対面が、両方あると、生活のリズムが乱れるのではと、直感的にそう思うが、学生さん、オンラインが入ってきて、生活リズムが、あまり変わらない人もいるけど、乱れたよとか意見をいただければ。

学生：生活リズムは、1年生の時は対面で学校に毎日行くので、朝6時に起きていた。授業あるのでお腹空くの嫌やし朝ごはん食べていこうとリズムしっかり。2年生オンラインだと、友達と会うでもないし、画面オンでもないの、朝早く起きなくても、朝ごはんもお腹すけばすぐ食べられるし、抜くようになって、生活リズムが崩れている学生も結構多い。

学生：1年生対面、2年生オンライン、3年生ハイブリッド。1年生の時は早く起きて朝も食べて、昼学校で食べて生活もしっかりしていた。一人暮らしだけど。コロナになって実家でオンラインで授業を受けていたので、生活もあまり乱れず。3年生になって長期休みの際はすごく乱れていたなあ。何もしていなく。就活で遅くまで作業して朝起きるのも遅くて、長期休みの時は乱れる。私の周りもそうだった。

教員：関心あるのは、オンラインをうまく活用して、メリットを感じている学生とそうでない学生がいるところがあるが、学生にとってオンラインとハイブリッドと、あり方は学生にとってどういうのがあるのか？前から気になっていて。身内の学生に聞くと、先生に権限が強い所は先生が勝手にオンラインになったり対面になったりで学生は振り回されている、と聞かないでもない。学生にとっての対面とオンラインの良いブレンドについて教えてください。

学生：僕は下宿なのでできれば対面。自宅の人は通学で。22年は基本的に対面。大学キャンパスにも人が溢れていてバスも混んでいる。コロナでガラガラのキャンパスしか知らないのに、人が溢れているキャンパスが嫌になって。急に対面は困惑、食堂何分並ぶんだと思っている学生も多い。1年生は初めから対面なので大丈夫だけど。僕たちだとオンラインが良い派と対面良い派に分かれる。

教員：20年大学全体のIT統括の仕事、オンライン授業の支援に。授業の仕方が学部によって違った。文系学部はオンデマンドで、学生はレポートの相場感が分からず苦勞、授業で他の学生に相談できず苦勞。理系は最初からライブで違和感なく。先生方も味しめていて、学生とみんなの前で講義するのが良い先生も。キャンパスの混雑は嫌、は共感。就活、学部とか、国立は理系が多いので、文系が多い私学とは違う。ファクターもいろいろで、一人一人が違うのかな

あ。

教員：文系理系も大きく違う

学生：文系私学でオンライン多いなあと感じていた。コロナオンライン時は対面やりたいたと思っていたが、今は面倒臭い、4年生だし。対面に拘らない学生も多い印象。自分が濃厚接触者になった時、必修ゼミどうしようの時、うまくオンラインで対応してもらった。柔軟な対応してくれる所がオンラインが良い点。友達作りや新しい出会いもあまり求めてなくて、私たちの学年はオンラインで大丈夫かな。

教員：4年生だと大規模講義オンラインで、残された時間をわざわざ学校に来るのも嫌、な気持ちも。学年によってだいぶ違うかな。1年生は圧倒的に対面支持か。3、4年生はこのまま？その辺どうでしょうか？

学生：私も4年生なので、新しいコミュニティより、卒業に向けて身近な人と。3年生も就活なので、新たにサークルに入ろうという人もいない。私の学部は少人数のゼミがあって、横のつながりも何となくあって。ゼミの友達、周りの人たちだけでいいかな。1、2年生はサークル新歓。毎回イベントいっぱい締め切り。新入生は新しいコミュニティや挑戦しようという学生が多くて。

教員：大学の視点で、オンラインと対面のバランスを考えてしまうが、3年生と1年生で違って。3つの危機も学年で違うし、今の3年生も新入生と同列には語れないなあとわかりました。チャットでいろいろな意見、資料を頂戴している。情報。今3、4年生に必要なこと、1年生にとって必要なこと、それぞれの学年にとって、それぞれ必要なこと、生協としてどういうことができるのか、ご発言を。学生の発言の後に、生協としてどうできるか、専務さんなどから。学生さん。

学生：大学生協として、事業の側面、活動の側面でのサポートをするには、対象となる学年の学生がどうなりたいのか、どういう風に大学生活を送りたいのかが明確にならないと、私たちもこうだろうと思ってやるので、ずれがでるとサポートした気になってしまうので、コロナ禍でどんな大学生活を送りたいのかを明確化したい。アンケートもやるのでデータとして収集したいなと思っている。そこから具体化できればと思っています。

学生：思っていたことは、3、4年生向け。4年生の経験、就活がメイン、を引き継いだ機会があれば良いなと思った。私も就活して大変、いつから動けばいいのか、インターンは、サークルの先輩にも聞けなくて分からずに今まできたので、3年生はガクチカ何言えれば分からない。4年生はコロナ禍で就活をしてきたので、上と下をうまく結びつけて、きっかけができれば。楽しくこれから頑張れるのではないかと思います。

学生：確かにチャットの話も見てた。人から人へ直接伝えることの影響力が一番大きいと思っている。SNSも大事だけど。印象にも残るし行動につながるものにもなるので、佐々木さんも言っていたので、引き継ぐというか人と人がつながること。4回生というわけではないが、つながりが薄い現状があって、つながりづくりでも参加しづらいけど、他に目的があったたまたまつながりができる。生協のセミナーに行って学びに行っていたたまたま友達ができた。コミュニティを作って何かきっかけができれば良いなあ。前向きに捉えることを周りの人に伝えることができれば良いなあと思います。

学生：　　さんに近い。3年生に向けて交流会というより、公務員講座や就活ガイダンスをうけて、これも頑張ろうとなれる。参加してこういうこと頑張れば良いよとわかって、3年生の窓口としてはそういう所かなあと。

学生：新2年生。　　さんや　　さんのような本来の目的に付帯して、に共感。私のような理系で新入生層のターゲットには、高年次に上がるにつれてどんな研究ができるのだろうか？九州大学は4年生から研究室なので、研究室の具体的な研究内容、教授はここが詳しいよとか、大学で学べることを具体的に知りたい。交流会を目的というより、私たちの層は、この研究室に行くにはこの学部学科、コースに行けばいいよのガイダンスがあるといいなど。

教員：交流というよりも目的がはっきりしたことで。上から下へ伝えたい、下から上へしりたい。さん何か。

専務：コロナ禍で自分たちの使命を見失っていた。目の前に組合員がいない。大学コミュニティの再生に寄与できるのが生協職員だ、事業だけでなく事業と組織と一緒にやるのだ。釘宮さんのように、パソコン講習会やると先輩と新入生が話す時間が長くなる。講習会1時間お話し2時間とか、自分たちの居場所探し。メンタルヘルスプロジェクトは目的がはっきりしているもの。全国大学生サミットで分科会に出られた早稲田大学生が連合会に問い合わせして、早稲田大学生協に問い合わせ。自分もメンタル、後輩にも何かできないか。メンタルヘルスをタイトルにして集まるのかと思ったが28名。今も継続。それぞれの想いが一緒だった場合に共感しあって、幼少期の話までお話しされて、メンタルヘルスで困った時にこういう所あるよ、保健管理センターとか。どういうことが自分たちを救うのか、戸山公園でヨガとかやって。オンラインではやりにくいね、対面で。生協職員もメンターとかコンシェルジェとか。今そういうのが聞けてよかった。一例で、まだまだ考えていきたい。

教員：組合員が持ってきて形になったのは素晴らしいこと。　　さん

事務局：今の話に聞き入っていてなるほどと思っていた。早稲田のメンタルヘルスプロジェクトはすごいなと思っていた。

教員：大学によっては大学が率先して。状況によって学生のために生協も惜しみなく。

3. 学生アンケートのテーマについて。

事務局：コロナが始まって、昨年一昨年と7月に臨時アンケート。資料はついている。大学生サミットのきっかけに。今年も7月の下旬にやりましょうねと　　さんと相談。アンケート。今日の議論でどしどし出していただいて、質問をねってアンケートに臨みたい。たくさん意見を出していただくとありがたい。

学生：これまでの議論、一人一人学年によっても異なる。それぞれの学年に聞きたいこと、声を集めてどう活用したら学生が元気になるか議論できれば。

4. 学生ネットワークについて。

学生：アンケートというより雑談で学生の実態が明らかになれば。

裏目的として、声聞くだけだとモニター聞くだけになり、学生が集まるので参加している学生委員がどうしていてどんな取り組み？学生委員同士の交流になれば。

メディア：今の様な情報をたくさん集めてそれをどう活かすかを考えることに。サミット、継続していくのをどうするのが課題。自分たちで全部やるのは無理。最初の早稲田のような動きがそれぞれの大学できていく、それと連携していくのが現実的。新たな化学変化。皆さん方は個別のことをやりつつ、皆さんとは別に学生が動き始めている、NPOとか、全国にある強み、情報を集め、それをどのようにそれぞれの学生に還元していくかという時に、ハブ的な機能を目指すのが良いのでは、あちこち色々と活動し動き始めている学生との連携、捕まえていくの

が良いのかなあ。昨年から関わっているいろいろと考えていました。方法とかは、皆さんの方が私たちよりも、繋がり方わかるのでやっていただければと思いました。いろいろ新しいツールもでている。ポッドキャスト、AI、省力化する、皆さんが全部抱えるのは、他の事もやりながら、難しいので道具を使いながらやっていただければ。それをまた報道することで、意味があるタイミングも皆さん方であれば承りますので。議論を聞いた上での感想も含めて以上です。

学生：研究会全体としてもネットワークも、学生だけで話して各生協の学生委員で解決するのだ、ではなく大学生協としてどう繋げられるか、生かしてどう人と繋がりがらできるのかも私たち自身も考える。

事務局：メディアの方にも聞きたい。 さん さんにも感想アドバイスあれば。

メディア：後でチャットで打たせていただきます。

学生：メール等で確認して。学年や学部によって受けとめが違うんだなあ。アンケートもどこにターゲットにするかで全然違う。喫緊には、3年生の就活と新入学の1年生をターゲットがいいのかなあ。子供が入る大学も相当違うんだらうな、20年に断層があるんだなあ。

教員：単純化できないなあ。皆さんの話、経験を学年ごとに伝えていく、4年生は自分の経験を3年生に伝えていく、3年生も就活について聞きたいし。伝えることが今日のキーワードかな。

<チャット録>

1歳の次男の世話しながらなのでミュートとビデオなしで失礼します

承知いたしました

さんへ：ご友人の「後ろ向き」の方は、もし交流会があつて高須さんが誘ったら参加すると思いますか？

さんへ

個人的には誘っても参加しないのではないかと思います。「後ろ向き」な友人に自分の大学のサークルの新歓に一つでもいいから試しにいつてみたら？サークル楽しいよ！途中からでも大丈夫だよ！とよく話しているのですが、サークルはいいかなという返答がいつも返ってきます。

自大学で対面で申し込みなしで通りかかりでたまたま参加できるような交流会があれば参加するかもしれませんが、オンライン開催のものに誘われても自分から参加はしないのかなと考えています。

なので全国から各大学への取り組みにつなげることが一番いいのかなと考えています。

うーん、そうですね・・・。

さんへ 確かに後ろ向きの人であれば誘っても参加しないでしょうね・・・ 私の学生生活を振り返ると、授業のグループワークなどで知り合いが増えていった記憶があります。強制的にでも一步を踏み出さざるを得ない状況をどうにかして作るのがベターたのでしょうかね。

単位がもらえる交流会をやったら参加してもらえないかな？

先生へ。先ほどのお話で「ターゲットとするのは3割の学生」とのことでした。予想よりも大勢なので驚いています。引きこもってしまう学生やその予備群が多いという背景なののでしょうか。

説明足らずでした。

3割＝東海地方以外の出身者 です。

承知しました。

名古屋市内の学生よりもその周りから通学する学生の引きこもりが多いというのは大変心配なことだと思いました。

彼らが全員ひきこもったり不適應になるわけじゃないですが、他県からの出身者は適應がむずかしいです。というのも、入学前から近隣出身の学生さんは出身高校でつながっていて、入学式が同窓会のようになっています。

学生生活実態調査の結果でも、「一日2食」と、「朝昼兼用食」の増加傾向は顕著ですね。

さんへ

単位がもらえる交流会について自分だったら喜んで参加しますが、「後ろ向き」な学生は交流をしなくても単位がもらえる授業を受講する傾向にある気がしています。(個人的な意見です)

さん・さん 単位になるなら最高ですね。

具体的なジャストアイデアで恐縮ですけど、各学年ごとに「1年生 キャンパスツアー」「3年生 セミ・研究室のガイダンス」みたいな形でイベントを組んだらどうですかね？

たぶん交流会という形では、私たちが集まってほしい層の人は集まらない気がします。

参加した方が良いであろう（例えば 先輩の語るゼミ・研究室のガイダンス）セミナー→小単位でのグループ交流会→行ける人飲みに行こう！みたいなイベントを、大学生協が企画するとかなら集まりますかねー？

先生 名古屋大学も同じで、文系授業→主オンライン、理系授業→対面多し、でした。後ろ向きの学生は参加しない、とのお話ありましたが、確かに…とは思いました。経験・境遇が重なっている同士であれば参加する一例にしていだければ…。サミットを受けての成果、共済連の方々の支援を頂いています。藤本昌_事務局から皆様（11:22）

ご参考まで。

広報誌 「国立大学」第 63 号

特集：みんなで支えるキャンパスライフ

<https://www.janu.jp/janu/report/koho/koho63/>

コロナ禍の「学生相談」の現場から～オンラインとリアルの狭間で～

<https://www.univcoop.or.jp/parents/kyosai/kyosai64.html>

学年別が出ないのですが、専攻分野別の昨年学調結果です。

分野：充実／非充実

文系：76.8／23.2

理系：79.1／20.8

医歯系：84.4／15.6

ご参考まで。

森脇学長先生（岐阜大学）に、GI（生協学生委員）メンバーがインタビューしました！

（2022 年度入学者向け）

https://www.univcoop-tokai.jp/gucoop/fresh/fresh_464.html

昨年夏のアンケートでは、下級生の役に立ちたいという上級生の声、結構ありました。

です。この後の予定の開始が遅くなったので、早退予定でしたが 12 時まで参加します！

↑失礼しました。画面共有したものはこちらの資料です！

同感です！

https://newlife.u-coop.or.jp/iwate/campuslife/president_advice/

<https://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/journal/no21/10.pdf>

いったんここで失礼します。本日の研究会、いろんな発見がありました。ありがとうございました。

ご参考まで。

<https://twitter.com/hirodaiseikyoku/status/1262265763810799619>

https://twitter.com/uc_zengakui/status/1385549012833554432

先の話の海外留学×大学生協。

<https://www.utcoop.or.jp/commitee/basic-knowledge/abroad/>

学生のみなさんのお話、勉強になります。ありがとうございます。

<https://www.weblio.jp/content/%E8%A6%8B%E3%82%8B%E5%B0%82>

<https://gaiax-socialmedialab.jp/post-77267/>

ご参考まで。

[https://www.waseda.jp/taiken-](https://www.waseda.jp/taiken-waseda/tag/%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%83%98%E3%83%AB%E3%82%B9/)

[waseda/tag/%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%83%98%E3%83%AB%E3%82%B9/](https://www.waseda.jp/taiken-waseda/tag/%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%83%98%E3%83%AB%E3%82%B9/)

<https://www.facebook.com/148041695260266/posts/3100593206671752/>

次の会議が迫ってきましたので、本日はこれで失礼いたします。みなさんありがとうございました！これからもよろしく願いいたします。

ご参考まで。

<https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/ssc/>

↓↓↓

<https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/ssc/links/>

同じく次の会議があるため失礼します。次回もよろしく願います。

先日 2 年生の学生が、社会に出会った後「コロナ世代だから…」というように周りからマイナスな目で見られたらどうしようと言っていました

角田さん、ありがとうございます。就活にも、そうした面の影響が出ないといいのですが。

教員：大学としても 3 年生の就活やインターンに何かできないか。大変参考になりました。

教員：ただでさえ大変、先生、就活説明会こなかった丹念に

教員：学生はオンライン中心の生活になり、情報過多、情報が送られすぎてよく分からなくなっているのではないかと感じます。